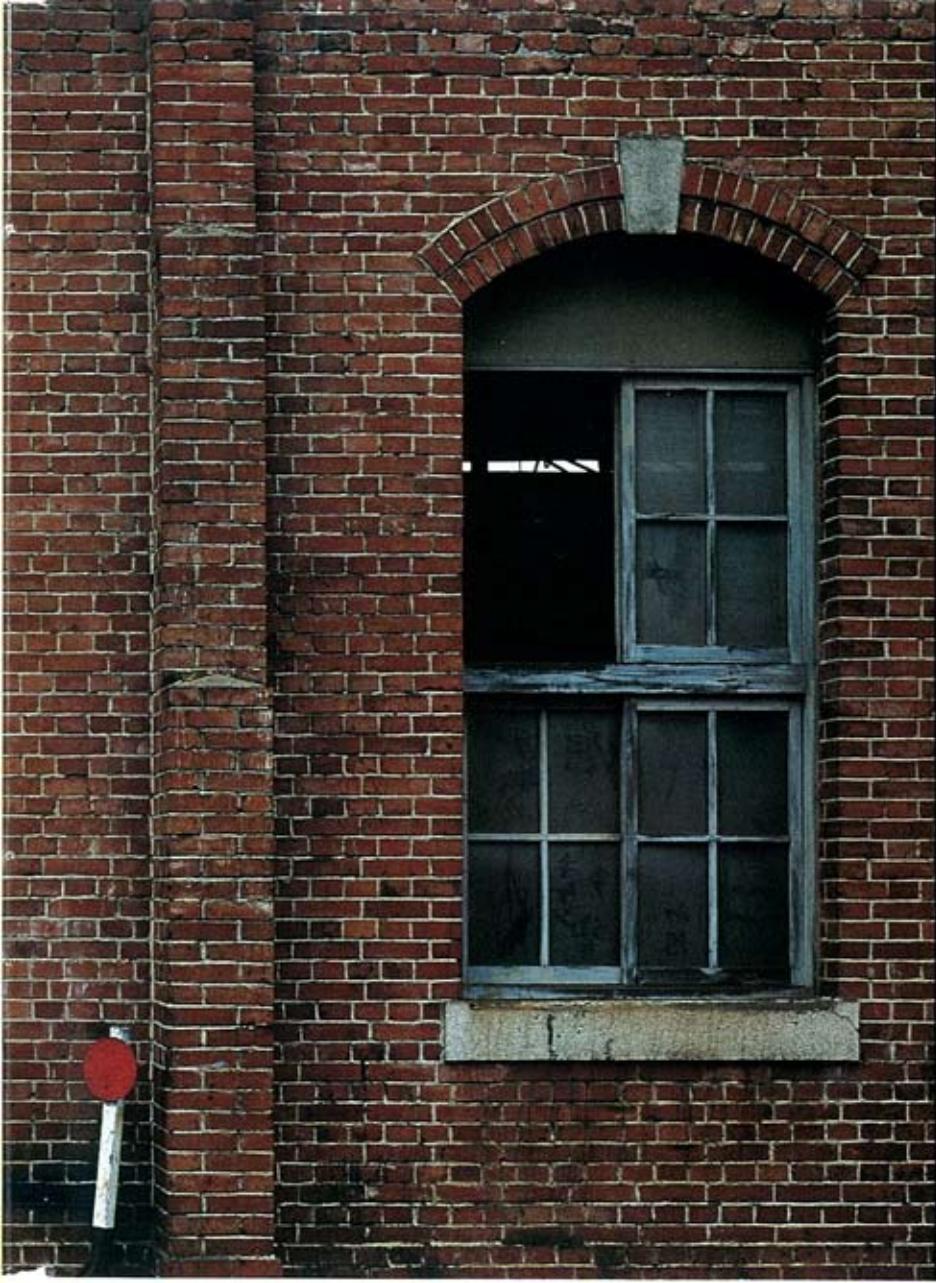


神戸のディテール

Detail of KOBE

55

石阪 春生
写真／杉尾友士郎





A HAPPY NEW YEAR.



左からレオバード、マウンテンオゼロット、オゼロット（いずれもビュール・バルマンの作品）

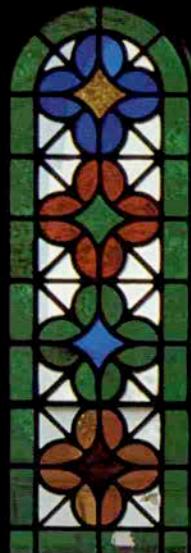
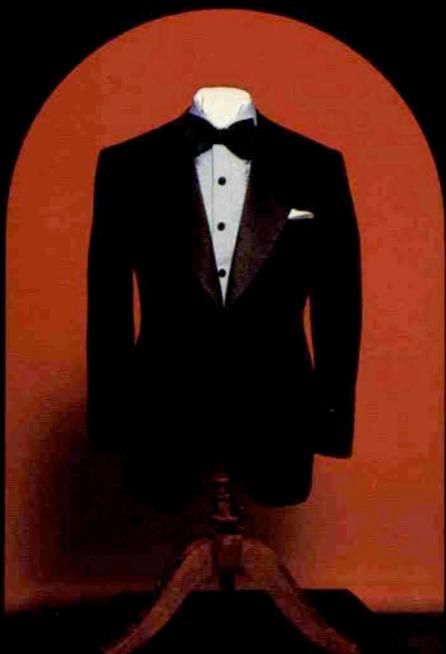
見つめられる毛皮

おかげさまで 創業 20 周年

盜難・火災・破損保険
お買上品の保管・
クリーニング・保管
等アフタケア完備

最高の品質と信用を誇る毛皮専門店
スニーコ 毛皮店
本店／神戸国際会館 1F ☎078-221-3327
支店／さんブルザ 7F ☎078-332-4661

謹賀新年 伝統と風格を守り育んで95年。



創業明治十六年

金 柴田音吉洋服店

神戸・元町4丁目南 TEL (078) 341-0693
大阪・高麗橋2丁目 TEL (06) 231-2106

●謹賀新年●



世界のオシャレをお届けする

ウネ
KOBE LINE

本店・神戸元町1番街・078-331-3112
別室・元町1丁目(穴門筋)・078-332-2800
東急百貨店・渋谷店・日本橋店・札幌店・吉祥寺店

A HAPPY NEW YEAR

華麗なあなたへ、今年も

豊かな年の幕開き・“女性の美しさを”お手伝いするムラタを
本年もどうぞよろしくお願ひします。



(Ω) 真珠・貴金属
毛皮・婦人服

ムラタ

さんちかレディースタウン
(神戸市生田区三宮町1丁目1)
☎ (078) 391-3886

本社
(神戸市生田区元町通6丁目35の2期邦ビル)

☎ (078) 341-8041

写真の商品は
真珠リング／¥ 5,000,000
真珠イヤリング／¥ 3,000,000
ロシアセーブルロングコート／¥ 20,000,000

「素敵な出逢い—神戸のエスプリ」



「キングス・アームズ」にて

わたしただけの充ちたりた時間

街にあふれる師走のざわめきも遠く……
懐しい友とのおしゃべりに、心なごむひととき。
ワインの香りが
私だけの時間を静かに溶かしていきます。
(リザ・サロン)は、豊かなライフスタイルのための
ファッションを、心をこめてお届けしています。
どうぞお気軽に立ち寄りくださいませ。

素敵な78早春のカタログを取り揃え、ご来店をお待ちしております。



神戸本店

■ Liza ホリディ・ツアースペシャル
ロアール・シャトウパーティと
パリ8日間の旅募集中
¥208,000
詳しくは近畿日本ツーリスト
Lizaデスク ☎ 078(391)2404(専用)
またはリザ・サロンで
おたずねください。



リザはファッションを通して豊かな生活を考えます
Liza

営業時間＝AM11:00～PM8:00／休定日＝第3月曜日

●神戸地区リザ・サロンのご案内＝そごう神戸店2F・大丸神戸店2F
大丸新長田店1F・センター・プラザ1F

神戸本店

神戸市生田区三宮町1-17-4

センター・プラザ3階 ☎ 078(391)6806代

1月 目次

これは神戸を愛する人々の雑誌です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ
これは神戸っ子の手帖です

表紙／小磯良平
セカンドカバー／西村 功

第二回神戸文学賞受賞者／奥野忠昭／吉峰正人

ある集い／神戸乗馬俱楽部

コウベスマップ／10

神戸のティーラ／55

石坂春生／カメラ・杉尾友士郎

わわたしの意見／坂井時忠

新春エッセイ／おんなの初夢

伊藤ルミ／村上和子／木下佳津代／高月昭子／羽多俊子

宮本豊子／小畠延子／南和恵

私の交友録／7

神戸をクリエイターのアトリエのある街に

乾第一／木村重信

足立馨一／白川 滉／小島雅正／森川達也／松原新一

キヤンペーン／国際文化都市神戸を考える（3）

酒井春海／岸澤貞雄／狩谷敏男／梅沢照雄／坂野淳子

技術ショーナル／124

経済ポケットジャーナル

話題のひる／11月堂本店新装さる（2）南汎 駿子 晴再現披露祝賀会

KOBE FASHION SPOT

AND & 神戸／佐藤愛子

NEU MODE NAROGEN／1

篠原順子

神戸の催し物ご案内（1月）

文学春秋／富士正晴／文・松原新一

神戸の集いから

動物園飼育日記／13

かわいそつなアリス／13

岡田 淳

新連載／私の映画手帖／淀川長治

女体百景／65

細川 葦

神戸百店会たより

ボケットジャーナル

新連載小説 姉捨で 第二回神戸文学賞受賞作品

奥野忠昭

えだ童徳

生活

第三回

神戸文学賞受賞作品

吉峰正人

えだ童徳

トーラ

トーラ

トーラヘル

コート

●個性派のプロムナード《北野アレー》

KITANO ALLEY

KOBEで唯一の
BUZZ・SHOPです。

●BOUTIQUE
BUZZ-SHOP
BY LUCY!

竹村募店長 コーディネーター辻真奈美
北野アレー1F ☎242-6750



明るいカラフルな色
楽しいファッショを。

●ブティック
ヨウカラ

山内一平
北野アレー1F ☎242-1695(代)



ヨーロッパの逸品が
奏でるシンフォニー

Bernadine

水野好
北野アレー1F ☎242-3245



個性派・行動派の
ファッショ

SKIVA

目崎文祥
北野アレー1F

WORLD HAND-CRAFTS
& ANTIQUES SHOP

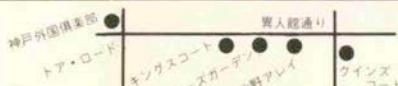
神戸コレクション

PERSONAL PRODUCER
TADASHI UEKI
北野アレー1F ☎222-3600

昼は異人館めぐりに珈琲を
夜は洋酒を片手にお話を。

TEA LOUNGE
Histoire

山岸直幸 a.m.11:00~p.m.11:00
北野アレーB1 ☎222-5335



北野アレー・テナント
1F / BUZZ SHOP / バーナディン / パリッ子
神戸コレクション / ブティック Chocolate Soup / スキバ
2F / イストワール / スパゲッティとスコッチの店 SAYDO
●営業時間11:00a.m.~8:00p.m. (無休)

A HAPPY NEW YEAR FASHION PARK

神戸・三宮さんプラザ・センターブラザ 3F

- (トータルコーディネートファッショニ) LIZA SALON
- (婦人服飾) 東京屋
- (舶来靴専門店) Pia
- (アクセサリー雑貨) ルイ・ミッセル
- (ジーンズショップ) Aoyama EIKO
- (COLLEGE SHOP) CABIN
- (マリ・ナウファッショニ) フランス・アンドルヴィ
- (マリ・ナウファッショニ) ジョージュ・レッシュ
- (婦人靴) 東京銀座 ダイアナ
- (ヤング & アダルトファッショニ) ルベール
- (ヤングアダルトファッショニ) ランブ
- (ファッショニバッグ・アクセサリー) 美呂
- (婦人服) 原宿 CAN
- (レディース・ファッショニ) 新宿高野
- (おしゃれな靴の店) BON フカヤ
- (コンテンポラリーファッショニ) ザ・コレクション
- (レディースファッショニ) 東京ギンザ三愛

賀 正

友 だ ち



森本 文三 近藤 望
(森本倉庫専務) (共栄木材社長)

近藤 新年おめでとう。

森本 やあ、おめでとう。

近藤 今日の服は実によく決まっているねえ。

森本 いや、いや、そういう君こそ……。

近藤 しかし、もう30年になるねえ、君とのつき合いも。

森本 お互いフォーマルスーツがしっくりする年齢になったということだね。(笑)

近藤 まったく。(笑)関西学院の高校以来か。2人とも昭和31年に大学を卒業したね。

森本 軟式野球部で君がピッチャー、僕がマネージャ。

近藤 そうそう。いろんなワルサもやったね2人で……。

森本 部費を一晩で飲んだり……ね。(笑)
わが青春の日よ……か。

近藤 おいおい、すい分と年寄りくさいぞ!
森本 本物の味が分る年になったんだよ。

近藤 なるほど。(笑)

森本 今はバットをゴルフクラブに持ち換えて……。君は小野ゴルフクラブでハンディ3だね。クラブチャンピオンにもなった。

近藤 君だって広野ゴルフでハンディ7。そうだ、今度の休みと一緒にコースを巡らないか。

森本 いいねえ。久々にお手合わせ願うか。

近藤 いつまでも君とは愉快にやりたいね。
近藤 まったく。何でも話し合える友達って男にとって一番大切なもんだな。



紳士服飾 ノヴ
トア・ロード TEL (078) 321-0320



英國製生地専門店

ジュン洋服店

神戸市生田区中山手通3丁目65
TEL (078) 391-0779

新しい年が明けましたが、あらたまつたのは曆だけ。

昨年につづく円高、不況などによる経済社会の動向は混迷と不安を今年に持ち越し、ここ当分春を望むべくもありません。こうしたきびしい社会情勢下ではあります。が、このところ「見直し」、「世直し」が叫ばれ、人間の生き方、くらし方についての真剣な問直しが行われる一方、新年の新聞は「経済の時代から文化の時代へ」と転換の必要性を説いています。このことは、戦後三十余年嘗々として築きあげてきた今日の輝かしい繁栄を、今後どうして維持していくかとする問題なのです。

かのギリシャ、ローマの偉大な文明社会が没落していった歴史に学ぶとき、文明を滅亡させたものは外敵の侵入に先立って内部の社会的崩壊であったという恐るべき事実に思いあたります。今日限られた資源、蓄積された高度な物質文明をただ徒らに消費しそのままのよううに思っている社会、日毎に肥大化する欲望や、多様化、複雑化する価値観の社会を、いかに変革していくかを真剣に考えねばなりません。

私たちはずべてを経済という物指しでしか考えなかつた過去に反省を加え、今度は文化という角度からすべてを見直し、創り變えていく必要があると思います。なるほど文化というと、すぐ遊びとか、余力といったものを連想しがちですが、私は文化とは世の中を変えていくエネルギーだと確信しています。それも中央における華麗な切り花文化ではなく、地方に咲く野草のよう、地味だけれどしっかりと根のある文化に大きな期待をかけています。なぜならこの根こそは生命であり、無限に伸びる力を蓄えているからです。

生命力あふれる地方文化の育成に今年は是非力を注ぎたいし、その発掘と交流を基盤として、二十一世紀への輝やかしい歩みを刻む「新しいふるさとづくり」を進めたいものと願っています。

昭和五十三年——。私たちはいまこそが兵庫に端正な精神と豊じようなロマンをうたいたいあげたいものです。

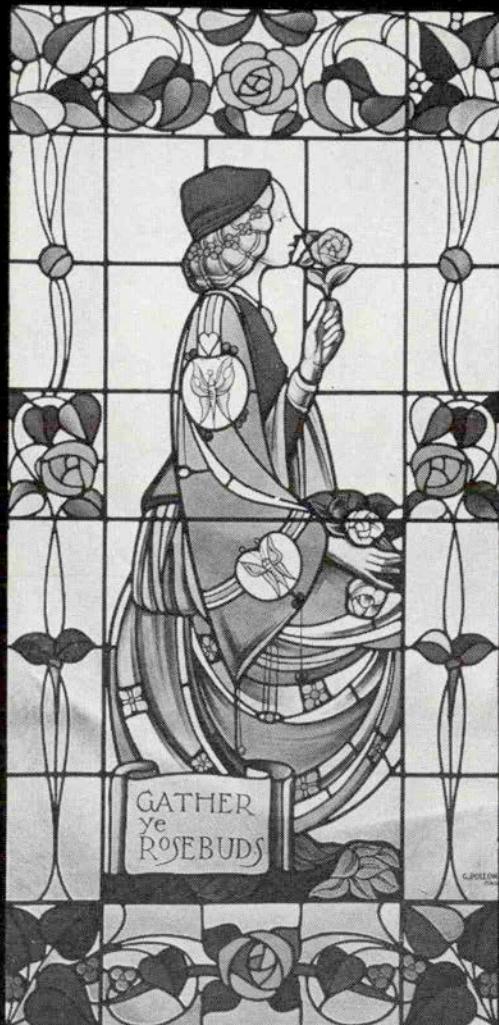
☆私の意見

ひらけ

地方文化

△兵庫県知事
坂井 時忠





より豊かな町づくり

'78
A HAPPY
NEW YEAR

本年もよろしくお願い申し上げます。

KOBE
NIKKEN

店舗装備のプロフェッショナル
(株) 神戸日建

本社 神戸市葺合区御幸通3丁目2-20
〒651 ☎ (078) 251-3525 (代)
東京 東京都中央区日本橋3丁目2-17
営業所 ☎ (03) 278-1369番

神戸文学賞・神戸女流文学賞発表

昭和五十一年六月、本誌は有為の新人に新しく道を開くとともに、西日本における文学活動の一つそのの発展のために微力を尽したいとの願いから「神戸文学賞および神戸女流文学賞」を創設いたしました。さて、第二回作品募集は昨年九月に締切り、西日本全域から多数の応募がありました。このほど最終選考を行い左記の作品が第二回の受賞作と決定いたしましたのでここに発表いたします。(授賞式)昭和五十三年一月一四日(土)午後六時始於レストラン「バーグ」

□神戸文学賞受賞作品

「姥捨て」



おくの 忠昭
ただあき

忠昭

奥野

「初年兵」

眞鍋 勇
まなべ ゆう

眞鍋

勇

愛媛県新居浜市泉宮町

「寄生蜂」

村戸 勉
むらど しのぶ

村戸

勉

兵庫県明石市大久保江井島

「青春の喚き」

井上 淳子
いのうえ じゅんこ

井上

淳子

福岡県大野城市平野台

「触れる」

田純千世子
たに じゅんせこ

田純千世子

福岡県柳川市竹橋町

「獄のぞき」

山田 とし
やまだ とし

山田

とし

熊本市江津

「生活」



昭和24年7月神戸市生。44年神戸市立湊川高校卒。51年より村戸勉と二人で

同人誌「地下室から」を出す。現在会社勤務。神戸市長田区在住。28歳。

▲受賞のことば▽ほくはいつも怯えている。道を歩くのさえ怖い。人が近づいてくるともうだめだ。殴り倒されるのではないかと落ちつかない。その場に屈み、靴の紐をなおすふりをして通り過ぎるのを待つ。そんなぼくの恐怖を、この受賞がいささかは解消してくれるかもしれない。ためしに、これを体中に貼りつけ、明日から歩いてみよう。

よしみね 吉峰
まさと 正人

よしみね 吉峰
まさと 正人

□選考委員

足立 卷一
あだて まこと

足立

卷一

作家▽

白川 涼
しらかわ りょう

白川

涼

作家▽

徳留 節
とくりゅう せつ

徳留

節

京都市西京区桂福荷山町

香川県多度津町

□神戸女流文学賞受賞作品

「ボクは目撃者！」

武田喜美子
たけだ きみこ

武田

喜美子

作家▽

受賞作なし

佳作

「虹の町」

坪川立枝
ひづか たてえ

坪川

立枝

福井市北今泉町

月刊 神戸つ子
まこと

主催
まこと

神戸つ子

作家▽

小島 輝正
こじま てるまさ

小島

輝正

作家▽

森川 達也
もりかわ たつや

森川

達也

作家▽

松原 新一
まつばら しんいち

松原

新一

作家▽

おん玉の初音

題字／小畠延子
カット／南和恵

ので今まで思いつかなかつたのですが、このポートアイランドの地に立つた時、「この場所こそ芸大の地だ！」と心から思わずにはいられませんでした。



神戸に 芸術大学を

先日、ポートアイランドにドライブがてら行つたのですが、規模の大きさ、山・海・街などの周囲の景観のすばらしさにあらためてポートアイランドに計り知れない可能性と魅力を感じました。

私の夢は、時おり口にしていることです。が、神戸に総合芸術大学「自然に囲まれていて、その上交通の便利な広いスペース」という

ので今まで思いつかなかつたのですが、このポートアイランドの地に立つた時、「この場所こそ芸大の地だ！」と心から思わずにはいられませんでした。

そして私の夢は果てしなくふくらんでいったのです。——広々とした公園にまわりを開まれ、遠くに連なる山々、ふもとに展開する街並み、そして近くに港の活気を感じ、キラキラ輝く波間に浮ぶ外国船に思いを馳せる——そんな環境に神戸芸大ができるあかつきには、日本はもちろん世界の人のがこがれの地となり、向学心に燃えた若人がたくさん集まつてくるではないでしょうか。

そして学生からプロの大家までが、資金や観客動員の心配なく本當に演りたいだし物ができるよう大学のまわりに小さなホールや発表の場をいくつかつくるのです。

そこでは、ごくポピュラーなものから実験的な前衛芸術まで、意欲あふれる作品や公演が、無料もしくは低料金で発表されていて、お勤めやショッピング帰りに立ち寄る人々の疲れをいやし、楽しみを与えてくれるようにするのですたまたま入つたホールのだし物が好みに合わなければ、遠慮なく別の場所へ、という具合に気楽な雰囲気で、義理やつきあいで行くの



伊藤 ルミ
（ビアニスト）

ではなく、自分の好みに忠実になることによって芸術の喜びにひたれるようになりたいのです。

アーティストの卵達は、そんな人達の暖かく厳しい感覚によって育てられ、また淘汰されていくことでしよう。仲間どうしで励まし、練磨しあって育つたアーティストは、その専門以外の芸術からも刺激を受けて、かたよらない真の芸術に近づいていくのです。そして世界に通用するアーティストが神戸から育ち、神戸を中心活動することによって、多大の影響をまわりにも与え、神戸の文化をゆるぎないものにしていく——これが神戸の街と人を心から愛し芸術を一生の伴侶にしようとしている一神戸っ子の夢なのです。

夢でみた

「夢の国」

村上 和子

（サン TV ディレクター）



私は元来「コロコロとよく気の変わるもの」です。去年のお正月になにを「心に誓った」のか、もう

忘れていたのですから。そのうえ初夢を暮のうちにみてしまうといふ、あわて者。

ふだん、ひとりでいる時は、日だまりの中でよく夢をみます。ひどい時には、一日に十本以上も。翌日、頭が「ボーッ」とすることも、しばしば。夢みごこちで、いつも新しい地図を開き、誰も知らない世界をみつけは、そここの住人になりすまして喜んでいるのです。

今年のお正月には、「神様に召されるとき、この世の中で一番きれいな服を着る人たちの国」を見つけました。

ここは、驚くほど太陽の大きさ南の島。

人びとは、陽気でおしゃれが大好き。

集会には、自分の眼に刺しゆうをして出かけます。

長老になるほど色どりのいい服をまとっています。

ですから、この国の人びとは神様に召されるとき、この世の中で一番きれいな服を着ていくのです。

残念なことに、この国を地図にマークしようとしたところで目がさめてしまいました。それから一日中、そのことが頭から離れません。夜になってどの方角にあるのか

のかボートアイランドまで確かめに行きました。

月明りに照らされた海は、とても静か。つめた夜空にしみわたる、船の汽笛。ここちよくひびく潮騒。この海のどこかにきっとさつきの国が続いているはず。そう思うと、もうあの国がどこにあるのか問題でなくなつきました。

それにしても、海からながめる神戸の街のきれいなこと。もし、船にホテルがあるのなら、泊まってみたい、そんな気持ちにさえなりました。街の灯りの一つ一つに、神戸がみえます。

でも、私の小さい頃の神戸の山はありません。山だった所は丘になり、丘だった所は高台に変わっています。今では、大好きなさご山のあのてっぺんにまで、人が住んでいます。

この街にやさしさがあるのも、山のせい。人びとの心がエレガントなのも、山のせい。毎日山をみないで暮している人は、一人もいません。このままでは心配です。山がだんだん小さくなってきて、そのうちになくなってしまうかもわからないから。

神戸は「山の街」だったのです。いつもなん倍もの星が、今夜は輝いているみたい。私は、大き

く息を吸いこんで首がいたくなるほど空を見上げました。降りかかるような冬の星座。あの青く澄んだ輝きさえも何千年、何万年も前のもの。

気が遠くなるほど永遠の世界。このまま宇宙に吸いこまれて、どこまでも、どこまでも銀河系の中をさまよって行きたいような気分。なんだかフワツとして、とても自由になつたみたい。山のむこうに流れ星が消えていきました。「きままなうちが華さ。人生なんて夢のまにまに」というように。

汐の香に 気づく街

木下佳通代



△造形作家▽

トアロードに移り住んではじめての大晦日のこと、突然静けさを破つて霧笛が一齊に響き渡り、表通りの窓ガラスが大きく振動した。港町に生まれ住みながら、日頃何となく船や霧笛と闊りなく暮らしていた私は、あまりの音の強烈さに驚き、見えない音を見よう

でもするように思わず窓を開き、確かに坂道を真直に上り山腹に反響する霧笛を見たような思いがした。そして改めて、港や船や海や汐風を思い返したものでした。

どの街角に立つても北に向かえばすぐ手の届きそうな山の緑があり、振り向けばすぐ足もとに海があるような神戸の街は、住めば都という以上に恵まれた形のよう思います。毎日の暮しに追われたとえ海辺へ行けなくとも、山へ登れなくても常に海と山とその風を肌に感じる心安さがあります。都市の発展と共に数を増す高層ビル、街並や古い建物との調和を欠くような色や形の新しい商店がふえることは、良し悪しの問題ではなく、一つの時代から次の時代への必要な変化でもあります。仕方のないことでもありますが、私の個人的な望みを書かせてもらえるなら、山から海を、海から山を見通せなくなるようでは快適ではなくなるし、今歩いている所が、東京のかなりパリなのか、神戸なのかわからぬような商店街になってしまえば、もう歩くのもまらなくなってしまいます。都市の発展を経済的成長のみを根拠にして押し進め

る、人の心が真に充たされた筈もないのですから。発展のための方法の根拠を変えなければ、自然と共に生きたいと思う若い人たちの心までも、その一つの目的のためのファッショニ染まっていきつたのです。一人一人の人が、そして一つ一つの都市がそれぞれ自身の文化を根拠にして自然と人間が呼応しあえるような新しい場を作りたいのです。「ファッショニ都市神戸」の方針が、いま風神戸に終らないように、一人一人の心の中に改めて自分自身の在りようを、そして居る所を考える新年でありたいと思います。

三宮の繁華街の雜踏の中で、本当にまれに風の運で汐の香に気づくことがあります。こんなかすかな喜びも私の大事な夢でもあり、また、いま風の風の中での一服の清涼剤でもあるのです。

古いものの 価値を

高月 昭子



△建築家▽

ての大きな悲劇のこと、突然静けさを破つて霧笛が一齊に響き渡り、表通りの窓ガラスが大きく振動した。港町に生まれ住みながら、日頃何となく船や霧笛と闊りなく暮らしていた私は、あまりの音の強烈さに驚き、見えない音を見よう

も、人の心が真に充たされた筈もないのですから。発展のための方法の根拠を変えなければ、自然と



なにかしら華やかな風が吹いて

る今日この頃なのです。

都市を目指して、あらゆる流れが

なにせこちとら手入れのゆき届
かない人で、洗い晒さなくともク

ギラギラと輝きながら速度を増して
きているようで、ブームも致来る
しているとか。またそこはかとな
くアカ抜けていて、流行を追わな

タクタクの服用は雪場をへたり外野を五本指でかきなでるという有様で頭痛薬がわりのコーヒーをすするのを安息としている身です。

のが神戸っ子で、文化人がおっしゃるには、母と娘の二人連れが様になる街が神戸なのだそうです。

それはそれは心地良いひびきを持つて神戸が語られ、神戸人が写されて、他人様には「あの神戸、あれの六甲、ホー！」という感じで、わが化び住まいの貧なる生活実感嘆からは程遠い感嘆のされたかたをするのが何ともちぐはぐな思いのす

この自由で束縛のない時間と空間を仕事のためのエネルギー源とし、この解放感のために顔を洗う暇さえ惜しんでいる私だというのに、どうでしょう、あの少し床の傾いていた喫茶店が、とてもスリツを着ては入れなかつたカレー屋が、どんどん建て変えられて、ここごとく華麗に変身してゆくではありませんか。あの神戸、あの六甲に着実になつてゆくようなので

一軒、また一軒と、年月の重みを持ちこたえられなくなつた人間の軽さを示すように値うちのある家が、空間が様変わりしていく跡には確実に「べラべラのウスツ」ペラになりやがつて」という感じのモノで埋まつてしまふのが耐えがたく落ち着かないのです。

女の夢にしては色気に欠けるくらいはあります、古いものの中の価値を手離さないでやつてゆきたいと思うのです。新しいものを造つてゆくのとはまた違つた持ち重なりのする夢があるのです。あの子供の時、廃虚を遊び場としていた頃の無限の解があるような強烈な感覚に似ているといえればいいでしょうか。そういう魅力にみちている場や空間も神戸に欲しいしている造りたいと思うのです。あの神戸あの六甲ではなく、自分自身の住まう神戸、六甲として考えないと私は心安らかにして住まいすることができなくなつてしまふという気がしてきているのです。

す。こんなところでコーヒーを飲んでいては、カレーを食べていては、うどんをすすつていては、スペイン風の白い壁に何故かアールのついたような家をつくつたり、レンガタイル貼りにガラス屋根の図面を書いてみたくなつたりするではありませんか。

本物指向

羽多 悅子



（ハニ紀会会員）

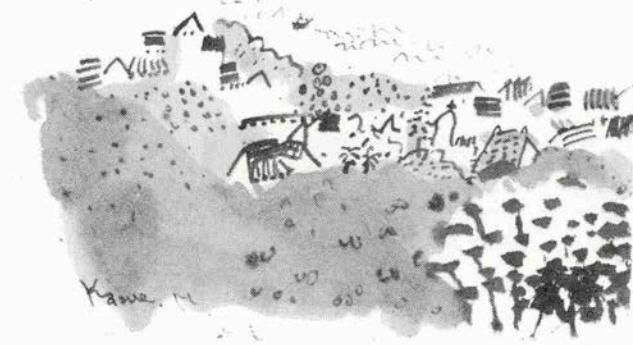
毎年のこと、秋たけなわの十月
東京上野での展覧会を終えると
もう私には一年が終ってしまった

かのように思えます。

師走には、一年の集計とかで世の人々が駆けめぐることになるのだが、こちらは既に次に来る年が始まっている、というとずいぶん勤勉に聞こえるでしょうが確かにエンジンのかかるまで数十日を要するわけだから、結果としては展覧会後の懇親会だのクリスマスだのやれ忘年会だの何度も間抜けた顔で出かけ遊べや遊べの毎日を過してしまい、やがて除夜の鐘と港からの露笛を合せて聞く日、改めてゆく年くる年と思うのです。

このところ、加速度を増しながら神戸らしく充実してゆく我が街に誇りを感じています。あたかも自分の生き方も神戸と共に誇り高くなるようで心地良いのです。
ところで神戸らしさとは何か、

を時々考えてみるのですが「本物指向を慈しむこと」ではないかと思えるのです。ファンションとしても流行している、いないにかかわらず自分に似合うものを、また似合うようにして巧みに取り入れてしまう。押し寄せでは満足しない。どんな斬新なものでも自分のものさしをあて、本物指向と出るとサッサと自分のものにする。衣だけと限らず食、住、その他の分野でも本物指向が大切にされているようです。



ただ、時々気になるのが広告部門、さかしらを申すようで心苦しいのですが、本物指向とばかりは言つておれない部分がもろに表面化しているのかも知れません。伝えたいたい事柄をすべて書き並べたようなポスター、看板、の前は片目をとじて走り抜けたくなります。
新しい街造りも本物指向の中で進んでいるようです。北野界隈も坂道の風景を壊さぬようにと心を配られながらブティック等が次々と誕生してゆき、三宮界隈の過密化も東西、南北、上下、に押し広

げようと努力がなされているよう
にみうけます。もう四年ばかり過ぎるとポートアイランドも全体の躍動を始めるとか。神戸も、神戸三宮の感を改め東西南北に雄々しく広がつて国際都市の名にふさわしく増えエレガントな街になつてゆくことでしょう。

「今宵は三宮界隈で：で済んだ今までと違つて、西から東へ、北から南へ、それも、もぐつたり登つたりでずいぶん忙しい思いをしそう。楽しいけれど車代も大変！」なんて冗談を言つたら「車ぐらいい黙つて乗せて頂ける身分になつておくれよ……あつ、その頃になつたら声すらからなくて出かけの必要もないかも」と仲間の毒舌が返つてきました。エレガントな風景に浸つて私自身も勿論本物指向、それこそエレガントな女性になつているはずなんだけれど。

豊かな美しい街

宮本 豊子



▲生活科学センター主任▽

「目の前に青空が広がる。心の窓がぱっと開かれたよう」神戸にやつて来る友人の多くが口にする言葉である。科学的に調べれば、やれ公害だの何だと問題はあるが、神戸に誕生をみようとしても、六甲の山々、舟の行ききする港、海、そして花咲く美しい街並み、温暖な気候、これにハイカラさが加わった、神戸の街の雰囲気はいつまでも大切にしたい……この気持が私の心をおおう。

こんな恵まれた街で、生活し、また仕事で多くの時間を費せば、よい発想、考えが生まれるもの當然といえるかもしれない。住みよい街、生活しやすい街に、ファッショニ性豊かな明るい街づくりのために。

神戸っ子の私の初夢は、「発想」「創造」のできる人間でありたいと願う。今日から明日への新しい発見を求めて、たとえそれがごく小さな発見であつても変動の激しい社会で、斬新な発想が消費者問題に活用できるなら、生活はより健全な方向に展開するであろう。消費者問題に十七年間携わってきた私の経験が、ついこうした発言をさせてしまう。だが続けよう。

神戸という街は、消費者問題でも先進的役割を果している。この四月には、ポートアイランドに兵

庫県生活科学研究所(仮称)がオーブンする。いわば「消費者の城」といえよう。商品をつくる人、売る人のための研究所が、全国に先がけて神戸に誕生をみようとしている。消費者問題も、今まで以上に躍進することだろう。

また、今年こそ、神戸の街ぐるみで、一つのコミュニティで消費者問題と取り組むといった大きな催しができたらと思う。新しい豊かさを求めて、一つの機関だけが、一つの消費者団体が、また行政だけが取り組むのではなく、企業、消費者を問わず、みんなで話し合い、地域で語り合い、よりよい生活づくりを、神戸から全国へ広げてもゆきたい。

神戸は「科学的」センスを持ち合せた街であり、それでいて「プラクティカル」(実用的)であり、「躍動」する街、「豊かさ」と「美しさ」を持つ街、「ピューティフル神戸」、そして豊かな発想のできる街こんな欲ばかりなことを考えながら坂道を歩いていると、その前を美しい一人の女性が、スカートを風にゆらがせながら、トアロードからセンター街へと姿を消していく。異人館が青空に映えてい

□ある集いその足あと

神戸

乘馬俱樂部

瀬戸 裕吉郎
△神戸乗馬俱楽部

八神戸乗馬俱楽部理事・精華堂社長

創立以来六十余年我が国最古の伝統を有する社団法人神戸乗馬俱楽部は馬術の振興と馬事思想の普及並びに、動物愛護の情操高揚を目的として設立され、戦前は高位高官の名士は必ず来俱され格調高い社交場としてその著名度は日本全国に響いたものです。

車谷成扇／その門下で間がり会員も老若男女とその層は厚く、東京オリンピックには神戸乗馬俱楽部より二名の選手を出すなど全国の馬術大会には必ずといってよいほど名選手が出現した。

現在の会長佐用仙治氏は馬歴五
十有年、しかも現役で毎日毅然と
して騎乗され、この度兵庫県スポーツ
一ツ賞を受賞された我が国馬術界の
重鎮です。私も馬歴は三十有年有
ですが、神戸乗馬俱楽部に入会し
て早や二十年の歳月を経過し古参
の部類に属し、その經營にも参考



日曜日の朝は、練習に若い人も多勢集まります。

38

しています。会長以下役員十六名で理事会が編成され、俱楽部を統轄運営に当つております。私は毎朝開店前のひと時を馬に乗りリストレス解消と心身の鍛練に励んでいる。

び、二泊三日の遠乗会を催し、穂種のなびく田舎道、紅葉の美しい山肌、柿の実のついた木々に囲まれた農家の横を、馬足も軽やかに神鍋山周辺や山頂へと馬群を連ね疾駆する様は一幅の絵となり騎乗

の醍醐味を満喫したものでした。
あなたの趣味はと問われると、
乗馬だと答える。あの競馬です
と返つてこられたが、

が乗馬と競馬とは全然違います！私は元町に生れ育った生糸の神戸っ子ですが、都心に近い青谷で毎日馬に乗ることの出来る幸せは最高のものと思っています。

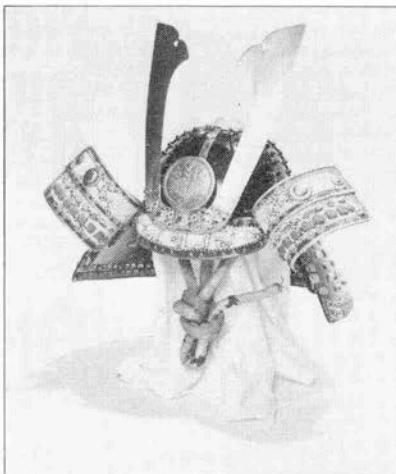
馬鹿の特徴はお前の口のひどいが、日常の言行態度全て品格を保持し、事に処して積極果敢人を敬いその範たるべきこと、心清く礼儀にあつく節度正しくして格調高く

立派な諸先輩の薫育と指導を得て現在に至っている伝統と光輝ある神戸乗馬俱楽部。この会員であれば人間として全て間違いがないとその信用は絶大なるものがあり、親も安心して子供を入れさせている神戸乗馬俱楽部。

昭和五十三年は午歳です。(馬)乗って馳けて見よう。美容と健健康に心身の鍛練に最適のスポーツです。

入会希望者は電話八六一一〇九四 神戸垂
馬俱楽部にお問合せ下さい。火曜日定休

刀劍 古美術



飾り甲 / 12万円

鑑定 買入 刀剣 研磨 その他工作
一ヶ月仕上 是非ご用命下さい。
お支払いに便利なローンをご利用下さい

刀 剣
古 美 術 元町美術

神戸市生田区元町通6丁目25番地

TEL078-351-0081

神戸に生まれて80年
新しい笑顔で
ごあいさつ。

元町駅のホームから
エキゾチックな顔が
見えました。
レンガづくりの新しい顔が
ひときわ高くほほえんでいます。
元町通りの風月堂が、すっかり新しく
なって、あなたにごあいさつしています。



5 階	茶室・満月庵 特別室・ゴーフルルーム
3,4階	事務所
2 階	レストラン風月堂 緑の庭園「ランスロット・プラザ」
1 階	和洋菓子・茶寮
地下	風月堂ホール「グラン・パレ・ド・フーゲツ」

贈る心にお菓子をそえて
 神戸風月堂

本社 神戸元町3丁目 ☎078(321)5555